

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告概要

(2023 年度)

(1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第1回幹事会：2023年8月29日（火）10:00～ 参加人数：7名

1. 自然災害研究協議会報告

菊地部会長より、令和5年4月19日（水）開催の令和5年度第1回自然災害研究協議会について、主として以下のことが報告された。

- ・令和4年度決算報告：昨年同様様々な事業がオンライン開催されたため、680,000円の予算に対して441,093円の残額が発生し、全額返納となった。
- ・「第60回自然災害科学総合シンポジウム」が令和5年9月25日（月）に京都大学宇治おうばくプラザ きはだホール及びZoomで、ハイブリット開催を予定。菊地先生が現地に赴き参加予定。

2. 2022年度決算報告

渡部センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,673,000円（2022年度繰越分を含む）

支出：799,960円

残高：2,873,040円

寄附金

収入：440,793円（2022年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

3. 2023年度予算案

渡部センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

これまでの繰越額を含めて、今年度からの配分がゼロになったため、なし（0円）。

寄附金

収入：440,793円（2022年度繰越分）

支出：支出予定なし

4. 2023年度地区フォーラムについて

渡部センター長より、昨年度は日本雪氷学会北海道支部との共催で、2021年～2022年冬期の大雪をテーマに講演会が開催されたと報告された。今年度は例年のローテーションにより、渡部センター長より室蘭工業大学の委員の先生へ依頼する予定。

5. 総会特別講演会について

渡部センター長より、今年度で退職される工学研究院 萩原先生、室蘭工業大学大学院工学研究科の木村先生に依頼することとなった。理学研究院 谷岡先生にはご快諾いただいた。

6. センター業務報告

渡部センター長より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員 86 名、協力員 65 名、合計 151 名

資料の受入：寄贈 4 件 作成 1 件

センター報告 Vol. 36：メール送信者数 174 名、冊子送付者数 28 名（送付部数 66 部）

WEB サイトについて：公開中

7. センター報告について

渡部センター長より、センター報告 37 号の原稿を募集中であるとの連絡があった。

報文・資料について、渡部センター長より、石狩湾の洋上風力発電の建設工事についてグリーンパワーインベストメント株式会社にご寄稿いただくよう依頼いただくことになった。岡崎先生より、エスコンフィールドの建築工事についてご寄稿いただくよう打診いただくことになった。

地区フォーラム開催報告について、尾関先生よりご寄稿いただけるとお申し出いただいた。

第 2 回幹事会：2023 年 12 月 20 日（水）10：00～ 参加人数：9 名

1. 自然災害研究協議会報告

菊地部会長より、令和 5 年 9 月 25 日（月）開催の令和 5 年度第 2 回自然災害研究協議会について、主として以下のことが報告された。

- ・北海道地区部会活動報告及び今後の活動計画を報告した。
- ・第 60 回自然災害科学総合シンポジウム：令和 5 年 9 月 25 日（月）にハイブリットにて開催された（Zoom およびきはだホール）

2. 2023 年度予算中間報告

寄附金

収入：440,793 円（2022 年度繰越分）

支出：0 円

残高：440,793 円

渡部センター長より、電話、テレビについては撤去していいかどうかの確認があった。電話については撤去することとなった。テレビについては、アンテナに繋がなければ NHK 受信料を払わなくてもいいかどうか、正木事務員が経理に確認することとなった。アンテナに繋いでなくても NHK 受信料を払わなければならない場合には、テレビ自体を撤去することとなった。

3. 地区フォーラムについて

木幡先生が中心となって、室蘭工業大学クリエイティブ・コラボレーションセンター主催で、ハイブリッド形式で 3 月ごろ行う予定。予算は京都大学の予算 20 万円が計上されていることを確認した。

京大の方で、予算の執行締め切りがあるかどうか、正木事務員が確認することとなった。

4. 総会特別講演会について

渡部センター長より、北海道大学の谷岡先生、萩原先生と室蘭工業大学の木村克俊先生にご講演を依頼し、快諾いただいたと報告があった。できるだけ早い時期に総会の日時を決めることと、北大工学部の A101 または A151 などの会議室とオンラインのハイブリッド形式で行い、総会後に懇親会を行うことを確認した。

5. センター業務報告

渡部センター長より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員 85 名、協力員 66 名、合計 151 名

資料の受入：寄贈 7 件

資料の貸出し・閲覧：0 件

WEB サイトについて：公開中

6. センター報告について

渡部センター長より、今年度のセンター報告は、グリーンパワーインベストメントからご寄稿いただく他、林先生、尾関先生にご寄稿いただくことが報告された。

[V] 災害記録は令和 4 年度分を募集中であり、様式を幹事会后に議事録とともに送付すると連絡があった。

7. その他

渡部センター長より、名簿の確認があった。清水康行先生が北海道大学から北海学園大学に移ったので、引き続き部会員として登録可能か、正木事務員から清水先生に確認することとなった。川尻俊三先生は九州工業大学に異動になったので、名簿から抜くこととなった。

正木事務員より、低温科学研究所の渡辺先生が運営委員を退任したいとの連絡を受けていると報告があった。渡部センター長より、低温研で代替りの先生に委員に加わっていただけるかどうか、打診することとなった。

(2) 地区フォーラム

2024 年 3 月 1 日（金）14：00～15：30

室蘭工業大学 教育・研究 1 号館 A304

建築構造物およびコンクリート構造物の耐震設計と地震防災の過去・現在・未来を考えるシンポジウム

講演者：

・大笹 航汰 氏（室蘭工業大学）

「AI・IoT 技術による建築物の地震損傷度評価」

・末長 大佑 氏（西松建設）

「機械学習によるアンカー筋のダウエル効果の評価」

・北野 敦則教授（前橋工科大学）

「北海道における鉄筋コンクリート部材の設計法に関する研究の歴史」

（3）出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol. 37 号の刊行（2024年3月）

（4）地区総会・特別講演会

2024年3月5日（木）地区総会 13:30～14:30、特別講演会 14:45～17:00

北海道大学大学院工学研究院 A151 会議室、Zoom を使用したオンライン開催のハイブリッド形式

講演者：谷岡 勇市郎 先生（北海道大学大学院 理学研究院）

「巨大地震・地すべり・火山噴火による津波励起と即時予測手法」

木村 克俊 先生（室蘭工業大学大学院 工学研究科）

「北海道における平成の海岸災害について」

萩原 亨 先生（北海道大学大学院 工学研究院）

「道路における暴風雪災害とその対策」

北海道地区自然災害科学資料センター運営委員会委員名簿

○北海道自然災害科学地区部会長：菊地優

○北海道自然災害科学資料センター長：渡部要一

萩原 亨	北海道大学大学院	工学研究院	土木工学部門	011-706-6214
渡部 要一	北海道大学大学院	工学研究院	土木工学部門	011-706-6193
松本 高志	北海道大学大学院	工学研究院	土木工学部門	011-706-6171
渡部 靖憲	北海道大学大学院	工学研究院	土木工学部門	011-706-6185
松本 浩嗣	北海道大学大学院	工学研究院	土木工学部門	011-706-6219
菊地 優	北海道大学大学院	工学研究院	建築都市部門	011-706-5329
高井 伸雄	北海道大学大学院	工学研究院	建築都市部門	011-706-6254
岡崎 太一郎	北海道大学大学院	工学研究院	建築都市部門	011-706-6231
中嶋 唯貴	北海道大学大学院	工学研究院	建築都市部門	011-706-6649
佐藤 友徳	北海道大学大学院	地球環境科学研究院	統合環境科学部門	011-706-2288
谷岡 勇市郎	北海道大学大学院	理学研究院	附属地震火山研究観測センター	011-706-2640
厚井 高志	北海道大学	広域複合災害研究センター		011-706-3882
中津川 誠	室蘭工業大学大学院工学研究科			0143-46-5276
木幡 行宏	室蘭工業大学大学院工学研究科			0143-46-5281
高橋 清	北見工業大学工学部社会環境系（地域と歩む防災研究センター兼務）			0157-26-9502
白川 龍生	北見工業大学工学部社会環境系（地域と歩む防災研究センター兼務）			0157-26-9520
尾関 俊浩	北海道教育大学教育学部札幌校理科教育講座			011-778-0381